

類 別：機械器具 3 0 結紮器及び縫合器
のうち、縫合器
一般医療機器 一般的名称：外科用テープ

JMDNコード：70419000

再使用禁止

マツダスネアテープ

【警告】

1. 使用方法

- 1) 汚染あるいは感染した創傷部位に使用する場合は、適切な外科的処置を行うこと。〔症状が悪化する恐れがある〕

【禁忌・禁止】

1. 適用対象（患者）

- 1) 本品に感作又はアレルギーを示す患者には使用しないこと。
〔アレルギー発現の恐れがある〕

2. 使用方法

- 1) 使用期限を過ぎたものは、使用しないこと。〔症状が悪化する恐れがある〕（使用期限は、外箱、及び袋に表示。）
2) 本品の使用は1回限りであり、再滅菌、再使用はしないこと。
〔製品が劣化する恐れがある〕

【形状・構造及び原理等】

1) 概要

本品は、外科手術の際に、各種器官を一時的に保持するために用いる、帯状のテープに鈍針をつけたものである。本品は滅菌済み製品である。

2) 主原料

テープ：ポリエステル

鈍 針：ステンレス鋼（ニッケル、クロムを含む）

3) 原理

本品固有の抗張力により、各種器官の保持を行う。

【使用目的又は効果】

本品は、外科手術の際に術野の確保や医療機器と組織の一時的固定を目的として、各種器官を保持するために用いる鈍針付きテープである。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

本品は、滅菌品のため、使用前に必ず、滅菌状態の確認を行った後に使用すること。

2. 使用中の操作

適用する器官の周囲に、注意を払いながら鈍針にてテープを誘導し、テープの抗張力にて保持する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品の使用により感作又はアレルギー反応を呈する可能性がある。
「アレルギー発現の恐れがある」
2) 適切な品種選択を行い、通常の手順に従って使用すること。
3) 本品を取り扱う場合、鉗子や持針器などの手術器具でテープを押しつぶしたり器具にテープを絡めたりしてテープを傷つけないこと。〔テープの損傷に繋がり、本来の効能を果たせなくなるため〕
4) 器官に巻き付けたままテープを擦ることや、過度な力で締めつけないこと。〔組織の挫滅や組織の損傷が起こる恐れがあるため〕
5) 鈍針にて組織周辺にテープを誘導する際、誤って組織を傷つけないこと。〔組織の損傷が起こる恐れがあるため〕
6) 本品の抗張力を上回る負荷がかかるような部位や手技には使用しないこと。〔製品が破損する恐れがある〕

2. 不具合・有害事象

本品は使用に際し、以下のような不具合・有害事象が考えられる。

- 1) 異物反応による組織の炎症

3. その他の注意

- 1) 使用後は医療用廃棄物として適切な処理をすること。
2) 包装が破損したり、汚染した場合は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵方法・保管方法

- 1) 高温、多湿、直射日光及び水ぬれを避けて常温で保管すること。
2) 包装材料に傷をつけたり、ピンホールを生じさせないように取り扱うこと。
3) 製品は改良されることがあるので、先入れ先出しを励行すること。
4) 製品に記載してある使用期限を確認し、使用期限を過ぎたものは廃棄すること。
5) 開封後、使用しなかったものは廃棄すること。

2. 使用の期限

使用期限は包材に記載のとおり。

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】

松田医科工業株式会社

問い合わせ窓口「お客様相談室」

電話番号：03-3814-6660